

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

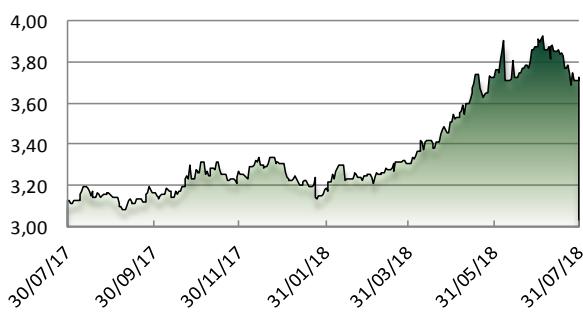
昨日のドルレアルスポット相場は、各国の金融政策決定会合を控えて動意薄の展開。グローバルにドルはやや軟調となったものの、レアルは反落し、3.72台後半で取引を終えている。ブラジル中銀は本日から2日間の日程でCOPOMを開催。昨日公表された週次サーベイ(FOCUS)では、政策金利の年内見通しが現状の6.50%で据え置かれており、波乱はない見通し。元中銀理事のLuiz Figueiredo氏も昨日行われた電話インタビューにおいて、「ブラジル国内の穏やかな成長と大規模ストライキによる一時的なインフレ率の上振れを考慮すると、金利据え置きが正当化される」と発言。また、①ストライキのインフレ率への影響が1回限りであるという前提では、インフレ期待はよくコントロールされている、②大統領選の期間中は、可能な限り政策金利の変更に動くべきではない、③大統領選を巡る不確実性を踏まえると、成長率がポジティブな方向に振れる可能性は低い、④中道政党から支持を得たことで、Alckmin氏が有利に選挙戦を進める見通し(副大統領に誰を選出するかは重要ではない)、などの見解を示している。ブラジル大統領選を巡っては、多くの世論調査で支持を得ているJair Bolsonaro氏が昨日テレビに出演し、経済政策に関する質問に対して、「経済ブレーンであるPaulo Guedes氏に委ねる」と改めて発言。「同氏が自身のチームから離脱した場合の対策」というプランBは全く想定していないとし、「任期を全うしてくれる」との自信を示した。

マーケットデータ

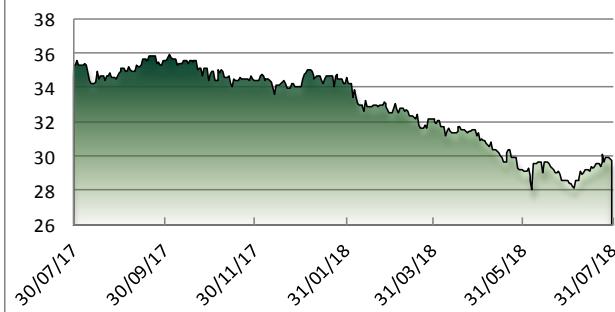
Indicator		Unit	7月27日	7月30日	前日比	1ヶ月前比	(年初来) 高値	(年初来) 安値
レアル	対ドル	BRL	3,7121	3,7297	0,47%	-3,79%	3,1210	3,9672
	対円	JPY	29,91	29,77	-0,47%	4,27%	35,13	27,63
	対ユーロ	BRL	4,3267	4,3669	0,93%	-3,60%	3,8531	4,6831
円	対ドル	JPY	111,05	111,04	-0,01%	0,25%	104,56	113,39
	対ユーロ	JPY	129,45	129,99	0,42%	0,49%	124,62	137,50
Bovespa (ブラジル株価指数)	Index		79,866	80,276	0,51%	10,33%	88,318	69,069
CDS Brazil 5yrs	bps		211,70	211,83	0,06%	-21,60%	285,83	142,50
Brazil 10yrs Gov. Bond	%		11,04	11,06	0,18%	-5,27%	12,40	9,43
DI Future Jan19 (金利先物)	%		6,62	6,63	0,08%	-3,00%	7,88	6,21
3 Months US Dollar Libor	%		2,3424	2,3424	0,00%	0,28%	2,3691	1,6959
CRB Index (国際商品指数)	Index		194,16	195,75	0,82%	-2,31%	206,95	187,35

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート



<オプスマン連絡先: 0800 722 2762>

本レポートは情報の提供目的としており、何らかの行動を喚起するものではありません。ここに示した意見は本レポート作成現在の筆者の意見を示すのみです。データや数値の抽出範囲・基準は任意で設定している場合があります。データ・資料等については、数値等の誤りが含まれている可能性があります。本レポートに基づき、お客様が投資のご判断をされた結果生じた損害・損失については当行は一切責任を負いません。投資や資金運用に関する最終決定は、お客様ご自身で判断されるようお願い申し上げます。本レポートの全部または一部は無断コピー・転載はご遠慮頂きますようお願い申し上げます。